

令和 5 年度目標設定シート

総務部

部目標	地方分権の進展により、地方自治体に自己決定・自己責任が求められている中において、市の業務の総合的な管理と職員の育成を進め、適正かつ公正で、透明性が高く、効果的な行政を進める行財政運営の基盤を確立する。
-----	--

課	目標
総務室	本市のまちづくりが円滑に進められるよう各部局間の総合調整を図る。 開かれた市政の推進のため、情報提供を推進するとともに、個人情報保護の厳格な運用に取り組む。
財政課	市の将来にわたる持続的な発展を可能にするため、健全な財政運営に努めるとともに、現下の市民生活の向上に寄与するため、予算の効率的・効果的配分を行う。
職員課	人材育成基本方針に基づき、職員の資質向上や意識改革を推進するため、人事評価を実施するとともに、職員の能力開発や意識改革を支援するため、職員研修基本方針を定め、職員研修を実施する。
管財課	市民等が利用しやすい行政サービスの仕組みを構築する中で、庁舎の整備・維持管理に努める。
デジタル情報課	行政事務の効率化を図るため、システム化の推進及び情報システムの適正管理に努める。

課名	事業名	事業概要	今年度の目標	指標		指標設定の考え方	
				単位	目標値		
総務室	平和都市推進事業	市民の平和意識の高揚などを目的とし、平和都市推進協議会との共催により平和のつどい、平和展、小・中学生ひろしま訪問事業などを実施	ロシアによるウクライナ侵攻を受け、改めて平和・いのちの尊さが再認識される中、既存事業の内容を見直し、ひろしま訪問事業ではより多くの参加者を募り、バスツアーでは訪問する平和関連施設を増やすなど、より多くの戦争を知らない世代や次代を担う子どもたちに平和の尊さを伝えていくべく、平和事業を実施する。	平和のつどい、平和展の入場者数	人	800	現状からの増加を目指す。 令和3年度からは、入場者数に市公式YouTube閲覧数を含むものとする。
				平和を考える小中学生ひろしま訪問事業の実施	人	30	定員の参加を目指す。
				戦争と平和を考えるバスツアー	人	20	定員の参加を目指す。
総務室	情報公開・個人情報保護事務	適正な文書管理により市民などに市政に関する「知る権利」を保障し、市政運営の透明化と公開性の向上を進め、市の諸活動に対する説明責任を果たすと同時に、厳格な運用のもとで市が保有する個人情報の保護及び自己の個人情報の開示などを保障	開かれた市政の更なる推進を図るため、適正な文書管理による市政情報や市の様々なデータの情報提供を推進するとともに、個人情報保護の厳格な運用に年間を通じて取り組む。	審議会等の会議開催の周知	%	100.0	審議会の開催を適切に公表する。
				行政資料コーナーの資料数	件	534	前年度実績（R4：533件）を上回る資料数を目指す
				個人情報保護研修の定員充足率	%	100.0	充足率100%を目指す。

課名	事業名	事業概要	今年度の目標	指標			指標設定の考え方
				単位	目標値		
デジタル情報課	情報化推進事業	行政事務の効率化を図るため、システム化の推進及び情報システムの適正管理、AI-OCR、RPAなどによる事務作業の効率化推進	市公共施設に設置している公開系端末を安定的に運用するため、関連するサーバ群及び端末を更新する。	情報システム更新率	%	100.0	システムの100%更新を維持する。
デジタル情報課	マイナンバーカード普及・利活用促進事業	個人番号（マイナンバー）カードの普及・利活用促進により、市民生活の利便性向上を推進する。	市役所庁舎等に専用コーナーを設け、市民のマイナポイント申込み手続きを支援する。市民のマイナンバーカード取得を促進するとともに消費を下支えするため、自治体マイナポイント事業を実施する。個人番号カード普及促進のため、出張申請サポートを実施する。	個人番号カード交付枚数（年度毎）	枚	10,000	国の交付目標数（全人口の90%）に則し大多数の市民が個人番号カードを所持することを目指す
				広報掲載回数	回	2	マイナポイント事業拡充時・申込期間終了前に広報掲載を行う。
				マイナポイント申込支援実施率	%	50.0	カード交付者の半数を目安にマイナポイント申込支援を行う（R5.9まで）
職員課	人事評価事業	人材育成基本方針に基づき、職員の資質向上や意識改革を推進するため、人事評価を実施。評価結果を人材育成に活用するとともに、給与処遇などへ反映	任用、給与、分限その他の人事管理の基礎として活用するものとして人事評価を実施。評価結果は昇給、勤勉手当の成績率に反映されるとともに、昇格、研修又は人材育成に活用する。また、人事評価を公正かつ有益に実施するため、毎年度人事評価研修を実施する。（令和5年度からWEB研修システムを利用した研修を実施する。）	能力評価実施回数	回	1	年1回能力評価を実施する
				業績評価実施回数	回	2	年2回業績評価を実施する
				人事評価研修	回	1	R5から管理職対象に年1回研修を実施する。（オンライン研修利用）
職員課	職員研修事業	人材育成基本方針に基づき、職員の能力開発や意識改革を支援するため、毎年度、職員研修基本方針を定め、職員研修を実施。職場研修のほか、集合研修、実地・派遣研修、自己啓発支援を実施	京田辺市職員人材育成基本方針に基づき、毎年度研修計画を策定し、対象者の明確化、目的に沿った内容の階層別研修及び専門研修、実地研修並びに派遣研修等を実施するとともに、自己啓発支援を行うことにより、職員の意識改革と能力開発を図る。	受研者数	人	680	過去の実績（R4:686人）と同水準の受研者数を目指す
財政課	ふるさと納税推進事業	クラウドファンディングの実施に向けて、対象事業を検討し、本年度から募集を行えるよう、準備を進める。また、事務処理の民間委託やシステムの利用等を拡充し、業務の効率化を図る。	返礼品登録数の増加や、寄附募集サイトの増設により、財源確保に努める。	ふるさと納税寄付額	千円	117,410	前年度実績から5%増の寄附額を目指す
デジタル情報課	DX推進事業	デジタル技術の積極的な活用による行政事務の効率化、デジタル社会にふさわしい行政サービスへの変革	行政事務のデジタル化による業務効率化と市民サービス向上のため、DX推進実行計画に定める取組みを推進する。	計画策定	—	完了	基本計画・実行計画を策定する。
				オンライン申請対応手続き数	手続き	10	デジ田交付金対象事業の実施計画に定めるKPIと整合させる。